

5月号

学校教育目標

ゆたかな子 たくましい子 かしこい子



東大成小だより

さいたま市立東大成小学校

令和4年 5月2日

ホームページ:<http://higashionari-e.saitama-city.ed.jp>

Te1 663-3210

Fax 663-9883

風薫る5月 ～一人ひとりが「できる喜び」を～

校長 岡田 健彦

シンボルツリーのケヤキをはじめ校庭の木々は、生き生きと緑の葉を青空に向けて茂らせています。急に気温が上がりましたので、子どもたちには水分補給等熱中症予防対策を行いはじめました。皆様もどうぞ御自愛ください。

さて、1学期がスタートし、1か月が経過しました。子どもたちは、年度当初の緊張も少しずつ解け、落ち着いた笑顔が増えてきました。私が驚いたのは、子どもたちがよくあいさつをすることです。登校時の通学路や校内の廊下ですれ違うときに、目を合わせて元気にあいさつをできる子が多いです。また、恥ずかしがりの子も頭を下げます。「礼を正す」ことは、人としてごく当たり前のことと思いますが、これを自然にできることは思いのほか難しいことです。私自身、後になって非礼を悔んだり反省したりすることが多いです。本校がこれまで重点課題の一つとして取り組んできた「凡事徹底」（当たり前のことを徹底的に行うこと）の指導の成果の一部を子どもたちの姿から見る事ができました。

次に、保護者や地域の方々がとても熱心に子どもたちをサポートしていただけていると感じました。登校時の様子を見ていますと、各交差点で保護者の方々のみならず、交通指導員さんや交通安全ボランティアの皆様が旗を持ち、子どもたちの安全を見守ってくださっています。登下校の安全は、学校のみならず家庭と地域、警察の協力体制で守るものですが、校内の安全指導と家庭地域の安全に対する取組の連携がとてもうまくいっていることに感激いたしました。いつも子どもたちへの優しい眼差しと温かい声掛けに感謝申し上げます。

学校は、コミュニティ・スクール2年目となり、地域の皆様と本校の教育について共に具体的な策を講じていく年となりました。私は、子どもたち一人ひとりが「できる喜び」を実感できる授業を行うことで、「みんなが笑顔の東大成小」が実現すると考えています。

基礎学力を向上させます…アクティブ・ラーニング型の調べ学習や探究活動、問題解決学習を行うために、単元の内容に応じて習熟度別の学習を行うことで確かな力を付けます。

体力・運動能力を向上させます…体育の授業、業間体育で特に、握力や投力を重点的に取り組みます。また、2学期には、校内で時間走を継続して行うことで、持久力を高めていきます。

タブレット型コンピュータを最大限活用した授業をします…授業では、コンピュータを活用した電子ドリルの反復を行ったり作文や写真データを保存したりして一人ひとりの学習の経過を蓄積しながら成果につなげます。宿題や家庭学習でも活用できるようにします。

教科横断的な授業や総合的な学習の時間、SDGsの活動で探究活動に取り組みます…子どもたち自身が体験活動やコンピュータ等を活用し、自らの課題に対して探究活動を実施します。

令和の日本型教育（個別最適な学び）を推進していくために、各担任は、日々の大切な1時間ごとの授業の中できめの細かい指導を進めてまいります。学校教育においてコンピュータ使用の必要性がいつそう進む中ですが、新たな取組を進めるためには、御家庭や地域の皆様のそれぞれの御理解と御協力、さらに、役割分担が欠かせません。引き続きご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。